

令和八年学力検査

全日制課程 追検査

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

国語

一 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

1

2

3

著作権保護のため
非公開

4

5

著作権保護のため
非公開

著作権保護のため 非公開

著作権保護のため 非公開

(注)

- **1**は段落符号である。
- ショシャナ・ズボフはアメリカの社会心理学者。一九五一〜。
- ターゲット広告に特定の条件に合うユーザー層に絞って広告を配信する手法。
- 信用スコアに集積した個人の情報を分析し、信用度を数値化したもの。
- レコメンド機能にユーザーの検索履歴をもとに、最適な商品・サービスをすすめる機能。
- コストにここでは、対価のこと。
- 稼働にここでは、機能や仕組みが動くこと。
- 牢獄に罪人を捕らえて閉じ込めておくところ。
- アルゴリズムにコンピュータなどで演算手続きを指示する規則。
- キュレーションに情報を選別し、利用しやすいように編集して提示したもの。

(貞包英之「ただかねひてゆき」消費社会を問いなおす」による)

○等閑視し無視して放っておくこと。
○ブラックボックス機能は分かっているが、構造の分からない装置。

(一) 「A」、「B」にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでのの中からそれぞれ選びなさい。

ア さらに イ しかし ウ ただし
エ つまり オ ところで カ なぜなら

(二) ① 共犯関係 の説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 企業は国家とともに収集した情報をもとに特定の個人を優遇し、私たちの生活を縛るが、私たちも企業が提供する情報を自らが行動するときの目安にしているということ

イ 企業は社会に提供する情報を操作することで、人々の消費の場を限定して利益を上げているが、私たちもそこを利用して企業へ要望を伝えているということ

ウ 企業は予測可能な範囲に人々の行動を制限することで消費者が気に入る情報を提供できるが、私たちも自らの行動を選択する労力を企業に代行させているということ

エ 企業は私たちの選択を情報として収集し、利益を得るために活用しているが、私たちも企業が提供するサービスを利用し必要な情報を得ているということ

(三) ② 重く受け止める必要がある とあるが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 私たちが情報やモノを企業のデジタルサービスを通して手に入れると、自分自身に関連する情報が気づかないうちに悪用される危険性が増してしまうから。

イ 私たちの興味をひく情報やモノしか生み出さないデジタル企業のサービスの利用により、対象が自分に必要なものかどうかを吟味する能力が低下してしまうから。

ウ 私たちは膨大な情報が広がる消費社会において効率よく商品や情報を選択し手に入れるために、仕組みが分からないままデジタルサービスに依存してしまうから。

エ 私たちが情報を収集したりモノを購入したりする過程でデジタル企業が提供するサービスを利用すると、消費社会が生み出す商品や情報が偏ってしまうから。

(四) この文章の論の進め方の特徴として適当なものを、次のアからオまでのの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 問題に対する解決策を提示し、それを複数の視点から検討すること、自分の主張に客観性をもたせている。

イ 段落のまとめを次の段落の冒頭で受け、論をつなげていくことで、自分の論が深まるようにしている。

ウ 二つの立場を比較して論点を整理し、自らの立場を示すことで、自説の正当性を暗に示している。

エ 問いを立てた直後に持論を述べ、それを証明する記述を繰り返すことで、論の構造を強く印象づけている。

オ 他者の論や多くの具体例を示した上で、補足を加えながら自らの考えを述べることで、説得力を高めている。

(五) 次のアからカは、この文章を読んだ生徒六人が、意見を述べ合ったものである。その内容が本文に書かれた筆者の考えとは異なる考えを含むものを二つ選びなさい。ただしマーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア (Aさん) サブスクリプションサービスはそれぞれの特徴を考えながら、自分に合うものを選択することができず。選択する権利はあくまで自分自身にあると思えることがこのサービスが注目されている理由なのだと思います。

イ (Bさん) 映像のサブスクリプションサービスは、以前は数が少なかったのですが、最近では複数の企業がサービスを提供しています。企業がたくさん参入すればするほど、私たちに利点をもたらされます。

ウ (Cさん) サブスクリプションサービスで漫画を何冊か読んだあと、似たような作品をすすめられました。あらかじめ好み进行分析して、たくさん作品の中から自分に合うものを探すめてくれるのでとても選びやすくなります。

エ (Dさん) 私は、本を書店で買っています。どんな本でもお金を払っているのが最後まで読むようにしています。サブスクリプションサービスの、合わないと思えば代金を気にせず別の本を読めるという利点には魅力を感じました。

オ (Eさん) 最近まで使っていたサブスクリプションサービスを別

のものに変えました。そちらのサービスの方が自分の好みに合っていたからです。支払う金額は高くなったけれども選べるということが大切です。

カ (Fさん) 私は複数のサブスクリプションサービスに申し込んでいて、場面によって使い分け、一つの企業に集中しないように気をつけています。だから企業が提供するサービスに含まれる作を防ぐことができます。

二 次の(一)から(三)までの問いに答えなさい。

(一) 次の文中の傍線部①、②に用いる漢字として正しいものを、それぞれあとのアからエまでのの中から一つ選びなさい。

幼い頃を ^①カイ ^②コ する。

① ア 快 イ 改 ウ 回 エ 悔

② ア 古 イ 顧 ウ 故 エ 誇

(二) 次の文中の傍線部と同じ意味で用いられている漢字を、あとのアからエまでのの中から一つ選びなさい。

学問を 修める。

ア 修養 イ 監修 ウ 修辭 エ 補修

(三) 次の文中の「A」にあてはまる最も適当なことを、あとのアからエまでのの中から選びなさい。

ホームステイ先からは、「A」ほどのモチベーションを受けた。

ア 言葉を尽くす イ 言葉を濁す

ウ 言葉に詰まる エ 言葉に余る

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

著作権保護のため
非公開

3

4

著作権保護のため
非公開

著作権保護のため 非公開

著作権保護のため 非公開

(注)

- **1**～**7**は段落符号である。
- ガレージセルⅡ自宅の車庫や庭などで不用品を売ること。
- 学際的Ⅱ研究対象が複数の学問領域にかかわっているさま。
- メルマガⅡメール・マガジンの略。
- フィルタリングⅡ不要なものを選別して取り除き、条件に合致するものを選び出すこと。
- 些細Ⅱとるに足りないさま。
- メル友Ⅱメール友達の略。電子メールをやりとりする友人。

(宮地尚子『傷を愛せるか』による)

(一) ① 問題は仕事関係の資料や本などである。とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 帰国までのわずかな時間の中で、荷物を少なくするために手持ちの資料や本を電子データに置き換えなければならないということ

イ 資料や本の中にはまだ読んでないものや帰国すると手に入らないものもあり、その扱い方を決めることが難しいということ

ウ 持っている資料や本の一つ一つを見直すと、滞在中の記憶が呼び起こされてしまい荷造りが進まないということ

エ 日本の研究室にはすでに大量の資料や本があるため、持ち帰ると全部読むのにさらに時間がかかってしまうということ

(二) 「②」にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 呼び水

イ 防波堤

ウ 終着点

エ 枠組み

(三) 次の一文が本文から抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとのアからエまでの中から選びなさい。

だつて捨てられるから。

ア 本文中の「1」

イ 本文中の「2」

ウ 本文中の「3」

エ 本文中の「4」

(四) 第五段落が本文中で果たしている役割についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 第四段落までに述べた現代の研究者に共通の悩みに加えて、これとは異なる個別の迷いを例示し、人間の多様性について述べた第六段落以降につなげている。

イ 第四段落までに述べた数々の失敗談の背景として、自らが目指してきた理想像を語り、これと対照的な人間の限界について述べた第六段落以降につなげている。

ウ 第四段落までに述べた長年の試行錯誤にもとづいて、現代人の精神的な課題に発展させ、人間がもつ普遍的な課題とは何かについて述べた第六段落以降につなげている。

エ 第四段落までに述べた個人的なエピソードのまとめとして、自分が心に抱えている葛藤を提示し、人間の特徴について述べた第六段落以降につなげている。

(五)

次の文章は、ある生徒が第六段落と第七段落の内容をまとめたものである。この生徒の文章に対する評価として適当でないものを、アから力までの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

人間の身体はたやすく進化せず、その能力には限界がある。オリンピックでの記録更新などは、身体能力の進化の結果に見えるが、科学技術の向上による場合も多い。進化することが当然のように思うのは錯覚である。

身体の一部である脳の処理能力についても同様である。ロケットが作れるからといって脳の処理能力が向上したわけではないし、インターネットを用いて多くの人と交流できるようになっても、心を許して交流できる人間の数は増やせない。脳は不安定で限界の多いものである。だからこそ、複雑な思考や深い洞察が可能となる。

- ア 指示語によって内容を省略し、簡潔な文章としている。
イ 類似する内容をまとめることで、主張を明確にしている。
ウ 本文中の具体例を用いて、内容を理解しやすくしている。
エ 一般的に陥りやすい誤りについて指摘している。
オ 脳の機能の知的な側面と情緒的な側面を記述している。
カ 人間の理想と限界についてまとめている。

(六)

次のアから力までの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア 研究者にとって仕事関係の資料はいつ必要になるかわからないので、できるだけ多く収集し、研究室に置いておくべきである。

イ 全てに目を通すことができないほど、世の中には情報が多すぎるので、質の高い情報もすぐに不要なものになってしまう。

ウ 入手した時は無益な情報に思えても、状況の変化で有用なものとなる可能性があるので、情報の意義は固定的なものではない。

エ 情報の仕分け作業を続けていくと、すぐれたものを残すことではなく、つまらない情報を探すことが目的になることがある。

オ 十分な時間がなくても、環境次第で小説の細部を味わったり、何気ない写真の良さに気づいたりすることはできる。

カ オリンピックでの好記録は、選手自身の努力の成果ではなく、出身国によるスポーツへの戦略的な取組の結果である。

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

著作権保護のため 非公開

(『続本朝往生伝』による)

(注) ○ 阿闍梨あじやり 観実くわんじつ 平安時代中期の僧侶。阿闍梨は徳の高い僧侶に与えられる称号。

○ 円融天皇えんゆう 平安時代中期の天皇。

○ 上に天子なく下に方伯なし 中国の前漢時代の歴史書にあることばで、ここでは「身分にはかわらない」という意味。

(一) ① 勅使けんせき 譴責けんざくせり とあるが、勅使が厳しくとがめた理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 観実が病人を見てもお経を読むことしかなかったから。

イ 観実が病の天皇よりも偶然見かけた病人を優先して看病したから。

ウ 病人が通りをふさいでいて車で通ることができないから。

エ 病人が観実気付いてもらうために大声でわめいているから。

(二) ② 今生のことを思はざる とあるが、観実がここで述べていることに近いものを、波線部アからエまでのの中から一つ選びなさい。

③ 参入せざらむや の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

(三) ③ 参入せざらむや の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 参上するはずだ

ウ 参上してほしい

イ 参上したことはない

(四) この文章に描かれている観実の人物像として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 仏の教えを守るために、天皇の来訪までも辞退してしまった人物

イ 病気の時こそ、普段以上に仏道修行に励むべきだと主張する人物

ウ 仏の教えに従って行動しており、どんな人も見捨てなかった人物

エ 自分の仏道修行よりも、苦しんでいる人々の救済を優先する人物

(問題はこれで終わりです。)

第1時限 国語正答

問題番号			配点		正答	配点上の注意事項
大問	小問		大問	小問		
一	(一)	A	7 点	1	エ	二つともできて1点。
		B			ア	
	(二)			1	エ	どちらか一方ができて1点。 二つともできて2点。
	(三)			1	ウ	
	(四)			2	イ、オ	
	(五)			2	イ、カ	二つともできて2点。
二	(一)	①	3 点	1	ウ	二つともできて1点。
		②			イ	
	(二)			1	ア	
	(三)			1	エ	
三	(一)		8 点	1	イ	
	(二)			1	ア	
	(三)			1	ウ	
	(四)			1	エ	
	(五)			2	ア、カ	どちらか一方ができて1点。 二つともできて2点。
	(六)			2	ウ、エ	二つともできて2点。
四	(一)		4 点	1	イ	
	(二)			1	イ	
	(三)			1	ア	
	(四)			1	ウ	
合 計			22点			

氏 名	
-----	--

国 語

【解答上の注意】

- 1 HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使用すること。
- 2 マーク欄は、下の例を参考にして塗りつぶすこと。
- 3 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
- 4 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしないこと。

良い例

悪い例					
○小さい	●上だけ	①線	○丸囲み	⊗バツ	●うすい

一	(一)	A						
		B						
	(二)							
	(三)							
	(四)							
	(五)							

三	(一)	㊦	㊧	㊨	㊩		
	(二)	㊦	㊧	㊨	㊩		
	(三)	㊦	㊧	㊨	㊩		
	(四)	㊦	㊧	㊨	㊩		
	(五)	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
		㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
	(六)	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
		㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫

二	(一)	①				
		②				
	(二)					
	(三)					

四	(一)				
	(二)				
	(三)				
	(四)				

受 検 番 号				
0	0	0	0	0
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9